

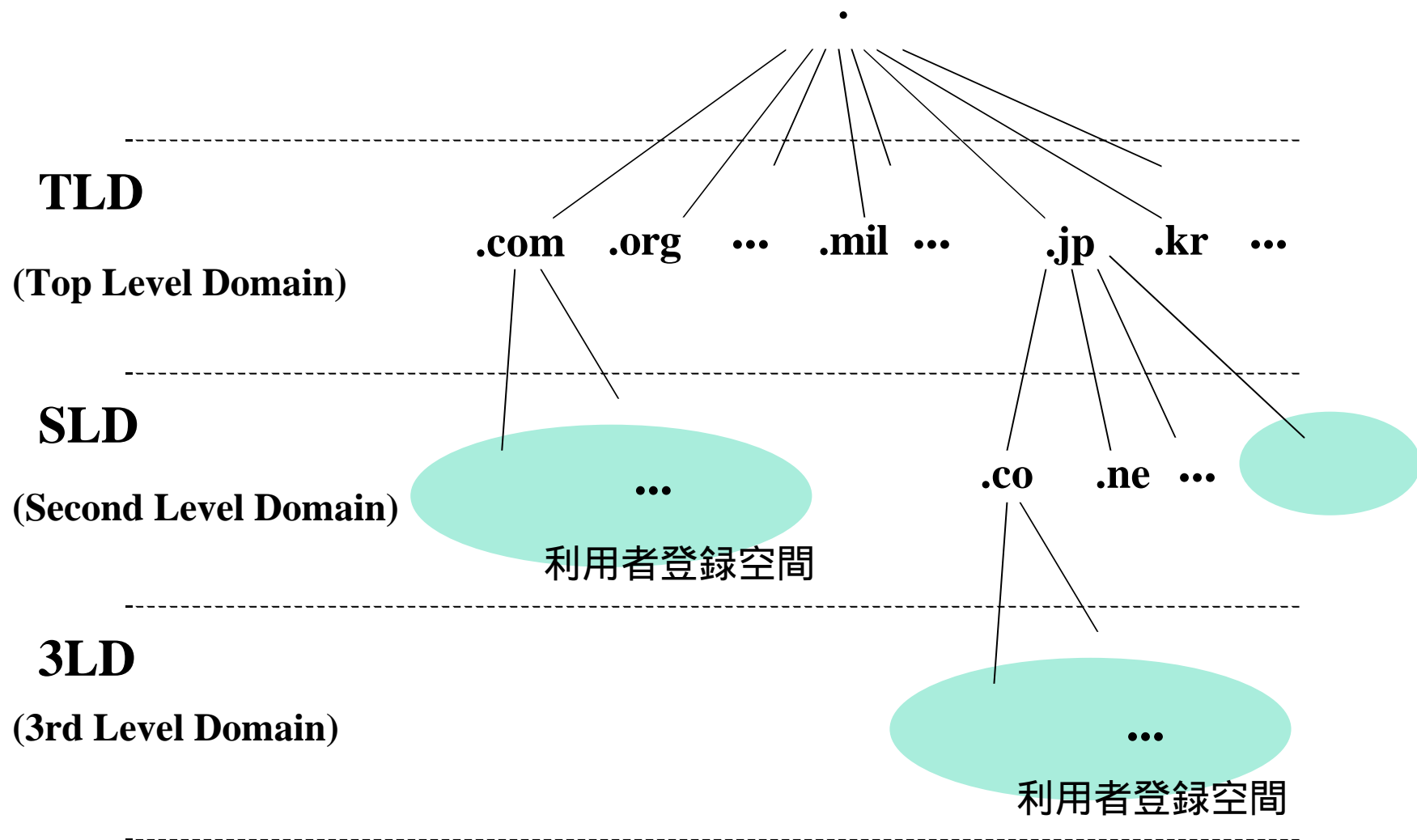
ccTLD契約とは

2001.10.23

JPRS(株式会社日本レジストリサービス)

堀田博文

ドメイン名空間の種類

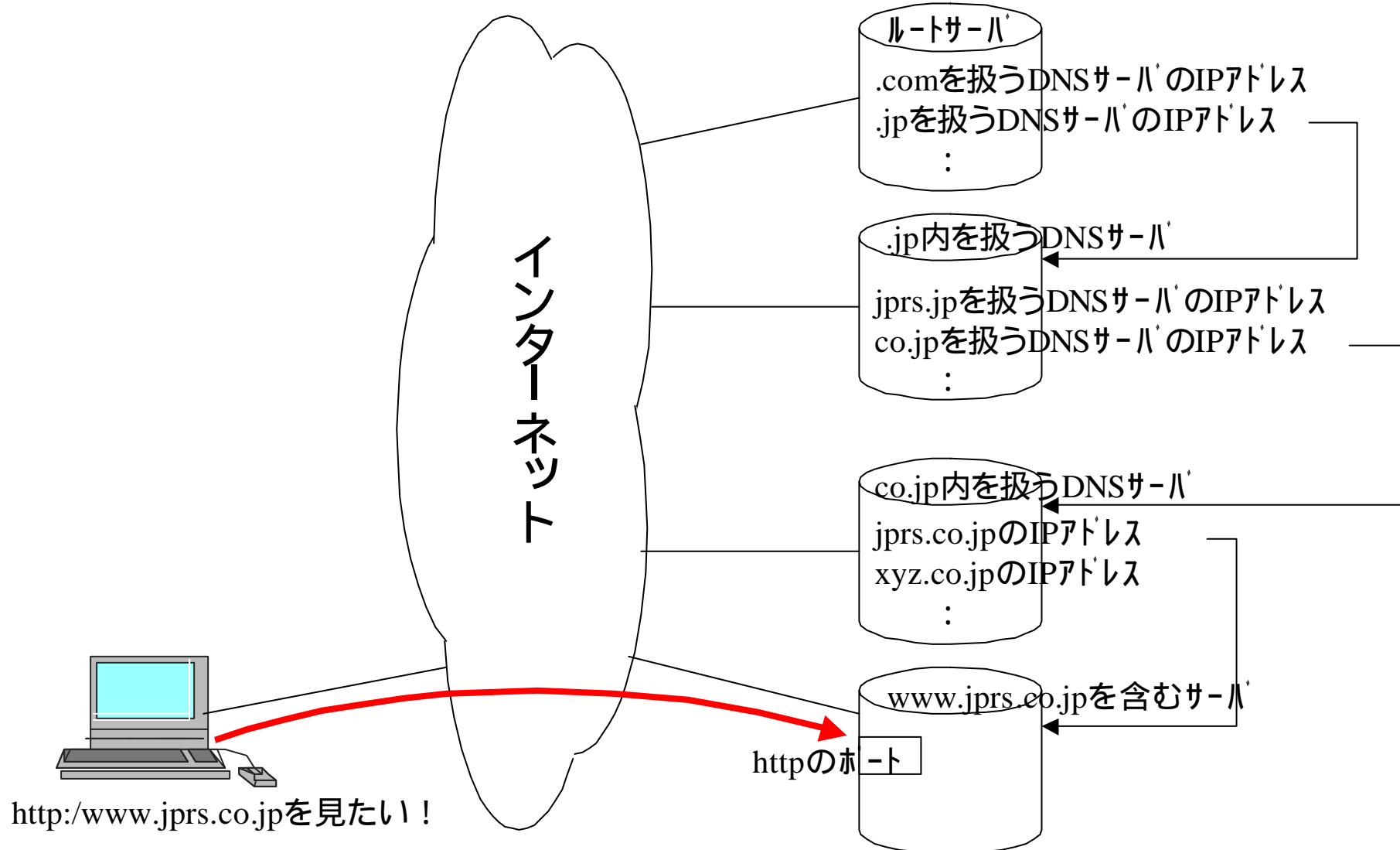


. と . の間の識別子長は2～63文字

TLDの種類

- gTLD : generic Top Level Domain (14種)
 - .com, .net, .org
 - .info, .biz, .name, .pro, .aero, .museum, .coop
 - (– .gov, .mil, .edu)
 - (– .int (international Top Level Domain))
- ccTLD : country code Top Level Domain (>240種)
 - .jp, .us, .uk ...
 - ccTLD配下のSecond Level Domain
 - 例: .jp配下には
 - .co.jp, .ac.jp, .go.jp, .ad.jp, .or.jp, .ne.jp, .gr.jp
 - .tokyo.jp, .osaka.jp,

インターネット上での通信相手一貫化方法



TLDに対するICANNの役割

- gTLD
 - ポリシー設定：運用管理組織が設定しICANNが承認
 - 運用管理組織認定：ICANN
 - ルートサーバ内データの責任：ICANN
- ccTLD
 - ポリシー認定：運用管理組織等が設定し政府等が承認
 - 運用管理組織認定：政府 or ICANN
 - ルートサーバ内データの責任：ICANN

ccTLD契約とは

- 契約主体
 - 各ccTLD運用管理に責任を持つ組織とICANN
- 目的
 - ccTLD運用管理組織がccTLDレジストリとして安定、公平、中立に運営されることの保証
- 内容
 - グローバルにつながったインターネットの一部を担うccTLD運用管理組織の責務の明確化
 - グローバルにつながったインターネットの一部であるccTLDに対するICANNの責務の明確化

ccTLD契約の必要性

- ccTLD運用管理組織は、インターネットのルートを管理するICANNから登録管理業務に関して承認される必要がある
 - 現在、.au以外は、明文化された形での、承認はもらっていない
- ccTLD契約を行うことにより
 - ccTLD運用管理組織に対し、世界的に権限および責任を明示的に与えられることになる
 - ICANNに対し、ルートゾーンにおけるそのccTLDドメイン名情報の管理義務が明示的に与えられることになる
 - 安定的なccTLD運用のためには、このICANNとの契約が不可欠
- 各国ccTLD運用管理組織はICANNと速やかにccTLD契約を結ぶ必要がある

ccTLD契約の形態

- Triangular model
 - 政府が何らかの方法でICANNに対してccTLD組織を指名する
 - ccTLD組織の国内向けサービスの適切さに対し政府が責任を持つ
 - ccTLD組織の国際的サービスの適切さをICANNがチェックする
- Legacy model
 - ICANN(IANA)が独自にccTLD組織を認定
 - ccTLD組織の国内向けサービスの適切さをICANNがチェックする
 - ccTLD組織の国際的サービスの適切さをICANNがチェックする

ccTLD契約に書かれること

- ICANNの責務
 - ルートデータベースの維持
 - ネームサーバ情報の更新
 - ルートゾーン Whois情報の公開
- ccTLD組織の責務
 - JPのネームサービス提供
 - ccTLDレジストリデータ・エスクロウ
 - ICANNポリシーのうちccTLDに関する部分の遵守
 - ccTLDとしての適切な運用の確保
 - DNSおよびインターネットにおける他の部分との相互運用性
 - 運用能力とパフォーマンス
 - 正確かつ最新のドメイン名登録者連絡先情報へのパブリックなアクセスの確保
 - ICANNへの、資金面での貢献

これまでに結ばれたccTLD契約

- .au
 - 政府がauDAを新管理組織として認定
 - それに基づいてICANNがauDAを新管理組織として認定
 - auDAが正式に新しいccTLD管理組織に
 - 契約内容はICANNが準備したモデル契約と同一(9月にICANN理事会が基本合意)